

## 2 - 2 日本海中部地震の1983年9月以降の余震活動

Aftershock Activities of the 1983 Japan Sea Earthquake for the period from September, 1983 to January, 1984.

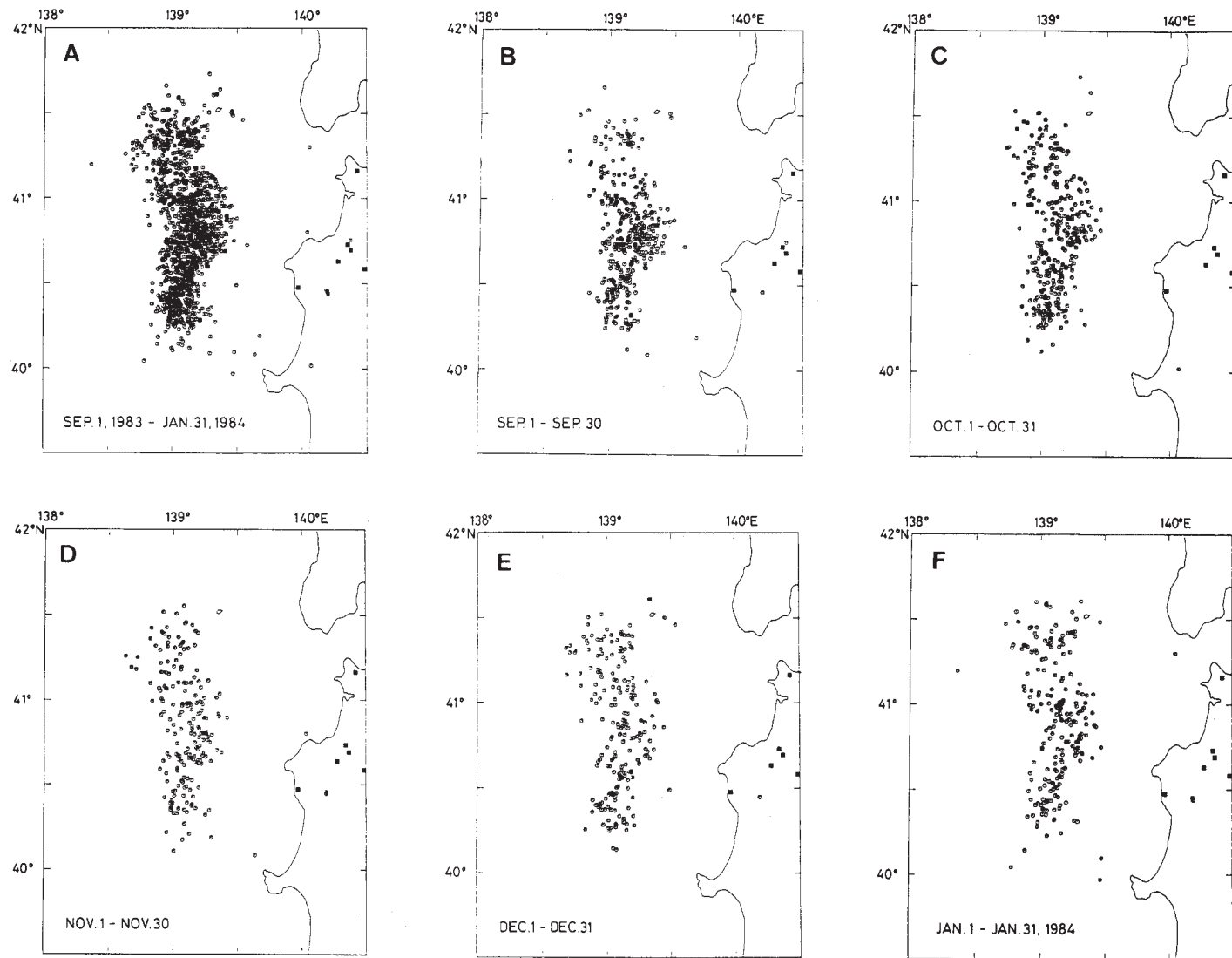
弘前大学 理学部  
Faculty of Science Hirosaki University

1983年5月の日本海中部地震発生直後から同年8月末まで、弘前大学の岩崎、三厩の二観測点の地震波形データは電電公社臨時専用回線を用いて、東北大学に伝送され、東北大学のデータと一括処理された<sup>1)</sup>。同年9月以降は、データの併合処理を行なっていないため、余震域に最も近接した位置にある弘前大学の微小地震観測網によって得られたその後の余震活動について報告する。

第1図には9月以降1984年1月までの期間について、月毎の余震の震央分布を示す。第2図には5月～1月の期間の余震の時間空間分布を示す。9月以降の余震活動はそれ以前に形成された余震域内の活動であり、顕著な余震域の拡大や、余震の震央の集中は見られない。

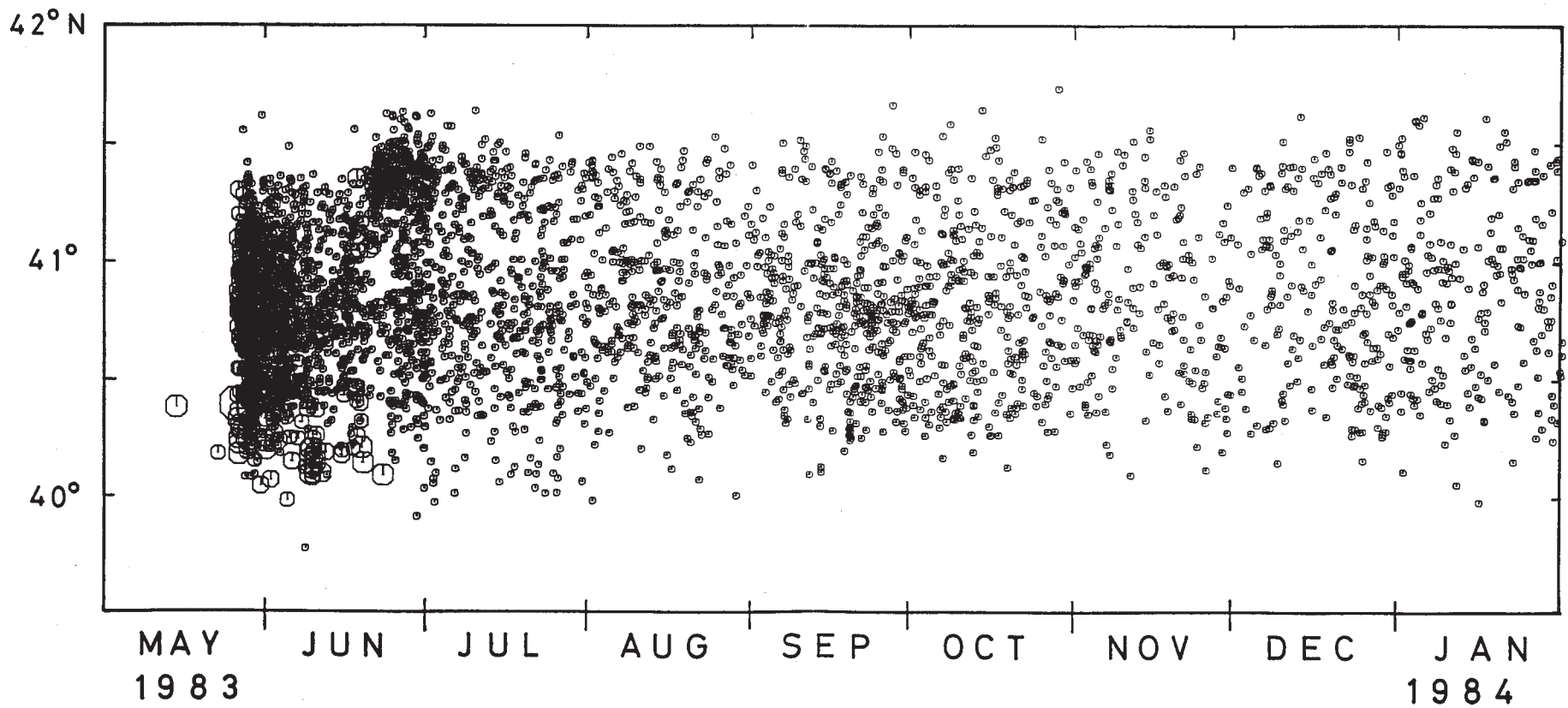
### 参 考 文 献

- 1) 東北大学理学部・弘前大学理学部：1983年日本海中部地震の前震・余震活動，連絡会報，**31** (1984)，22 - 33.



第 1 図 日本海中部地震の余震の震央分布

Fig. 1 Epicenter distribution of aftershocks for the period from September, 1983 to January, 1984.



第2図 余震の時空間分布

Fig. 2 Space-time distribution of aftershocks.